



4チームによるリーグ戦
 [1位 小倉 2位 宇治翔]
 [3位 横浜 4位 大久保]



3月例会案内

- 例会 26日(火) 通常例会／メンバースピーチ (パルティール京都)
- 役員会・OP 19日(火) (横浜コミセン)
 三役会 5日(火) (宇治・コメダ)
 イベント他 2・3日(土・日) The Ycapミニバス大会
 10日(日) リーダー卒業祝会
 23日(土) メイプル40周年記念例会 (ウイステイン都H)

4月例会案内

- 例会 16日(火) 次期役員研修会例会 (パルティール京都)
 20日(土) トップス30周年記念例会 (ウイステイン都H) <振替例会>
- 役員会・OP 23日(火) (横浜コミセン)
 三役会 2日(火) (宇治・コメダ)
 イベント他 未定 リトセン桜フェスタ (YMCA笠取リトリートセンター)

YMCAニュース

●1月号
 「ウインター&スプリングプログラム 募集(スキー、スイミング、体操) みつかる。つながる。よくなっていく。新たな出会い、お子様の豊かな成長を願って1月～3月のプログラムを準備いたしました。公式サイト <https://sites.google.com/kyotoymca.org/2023ymcawinter?usp=sharing> お問合せ 京都YMCAウエルネスセンター (Tel) 075-255-4709



●2月号
 能登半島地震YMCA緊急支援募金ご協力をお願い
 第1次募金期間:2024年3月31日まで
 募金使途:
 ・被災地近隣YMCAと協働して行う、能登半島地震の被害を受けた地域への支援活動。
 ・YMCAが関係する災害支援団体との協働で行う支援活動



詳細はURLまたはQRコードを読み取ってご覧ください。
 HYPERLINK
 "https://kyotoymca.or.jp/?p=8564"



Kyoto Able Y's Men's Club

クラブ主題 「どうするエイブルクラブ」
副題 ーみんなで考えようー

http://www.e-kyoto.biz/kyoto-able-ys/

京都エイブル
ワイズメンズクラブ
Bulletin
ープリテンー

2024.2 第34期4号 NO.342

- 三役
 会長/砂地一廣
 副会長/上澤正廣
 副会長/白濱廣史
 書記/山根拓也
 会計/浅森一恵

国際会長 Ulriink Lauridsen (デンマーク)

主題 "Let Your Light Shine"
 「輝かそう、あなたの光を」
 スローガン
 "Good Communication Is the Cornerstone in Every Cooperation"
 「良いコミュニケーションは、全ての強力関係の基礎である」

アジア太平洋地域会長 利根川 恵子(東日本区 川越)

主題 "Be the light for change"
 「変革のための光となろう」
 スローガン
 "Shine and empower through fellowship"
 「親睦を通じて輝き、力を得よう」

西日本区理事 深谷 聡 (名古屋)

主題 "Let's illuminate the light of hope for the future"
 「未来に灯そう(ともそう) 希望の光」
 副題 "Let's recognize each other with our friends from all over the world"
 「お互いに認め合おう 世界の友と」

京都部部长 武村 松一 (京都ウイング)

主題 "Make more friends"
 「仲間を増やそう」

聖句

あなたがたのうちだれ一人、罪に惑わされてかたくなにならないように、「今日」という日のうちに日々励まし合いなさい。
 (ヘブライ人への手紙 3章13節)

わたしはぶどうの木、あなたがたはその枝である。人が私につながっており、わたしもその人につながっていれば、その人は豊かに実を結ぶ。わたしを離れては、あなたがたはなにもできないからである。
 (ヨハネによる福音書15章5節)

地域奉仕・環境事業副委員長 今川 みや



まずは、能登半島地方で地震が発生し、亡くなられた方々に心からお悔やみを申し上げますとともに、被災された方々にお見舞いを申し上げます。被災地の安全と一日も早い復旧、復興をお祈りいたします。

2024年は、エイブルクラブ設立35周年を迎える節目の年です。入会メンバーが増えて、地域社会に貢献し、誰かの笑顔や幸せの為に、みんなで元気に奉仕活動に取り組むことが出来ること、心から嬉しく思います。引き続き、温かいサポートを提供することを目指します。

私の今年の抱負は、自己成長と結果を出すことです。それを実践に活かすための努力を惜みず、新しい知識やスキルを習得し、チャレンジやリスクを積極的に受け入れながら、自分のエリア外に踏み出し、失敗を恐れず前進したいと思っています。甲辰は、努力してきたことが飛躍して、さらなる成長が期待できる年と言われています。皆様にとって素晴らしい一年となりますように～今年も良い時間を過ごしましょう！

強調月間		1月 EF	/	2月 TOF・FF
2024年1・2月				
例会案内	スマイル	BFポイント	ファンド	CSポイント
<1月例会> 在籍者数=25名 メンバー 9名 メネット・コメント 0名 ゲスト 0名 メイクアップ 8名 出席率 68%	<ニコニコ目標=50,000円> 1月 0円 2月 10,000円 35周年PT 10,000円 <累計> 70,000円	<目標=1名> 現金 1,500円 切手 0円 <累計> 円 現金 円 切手 P	<目標> クラブ内ファンド 100,000円 小計 0円	<目標=1名> CS 1,500P TOF 1,000P FF 500P ロールバック 500P Yサユース 2,000P YES 500P
<2月例会> 在籍者数=25名 メンバー 8名 メネット・コメント 0名 ゲスト 0名 メイクアップ 16名 出席率 56%			<累計> 円 じゃがいもファンド 304,688円 クラブ内ファンド 円	<累計> P

1月16日(火)19時より祇園のど真ん中、切り通しにある「祇園TAC」で新年会が開催された「祇園TAC」とは当日入会された岡田Ysのお店で遊び人にとっては最高の立地のお店である。オプションの新年会に18名の参加があり例会よりも多いメンバーで新しいメンバーも参加され非常に賑やかな会となった。まずは砂地会長の挨拶で始まった新年会、異例ではあるが入会式が行われ「祇園TAC」の岡田氏が目出度くメンバーとなられた。

山根弘丈Ysのスポンサーするスピードが凄い!エイブルのメンバー30名も夢ではない現実味を帯びてきた。会費1万円では味わえない食事の内容に全員満足。岡田Ysに感謝!

また、新年会恒例のオークションは小生が競り人となりメンバーが持ち寄った品物を高値?で競り落としていった。近年になく品物が多く大変盛り上がるオークションとなった。

最後に正月早々、能登を襲った地震への災害募金に全員が募金をし45,000円が集まった。

(クラブからの25,000円と合わせて70,000円の募金)

若いメンバーは二次会へ祇園の街に消えていった。



＝新入会おめでとうございます＝

◆新入会員・紹介プロフィール◆

はじめまして、祇園TACの岡田 久 です。昔からご縁をいただいていた、山根弘丈さんの紹介で入会いたしました。趣味は読書、音楽鑑賞、レコード収集、キャンプ、アウトドアなどです。また、職業柄あちこち飲み歩き食べ歩きます。豪放磊落、闊達自在、明朗快活、融通無碍、機嫌良く生きることを心がけております。一生懸命に仕事をし、努力を怠らず、マメに、ひたすら継続に努めます。どうかよろしくお導きください。



入会日:2024.1.16
お名前:岡田 久(おかだ ひさし) 48歳
生年月日:1976年10月14日
ご住所:京都市中京区烏丸御池
職 業:株式会社 真久(飲食業)
趣 味:読書・レコード収集・Barめぐり
スポンサー:山根弘丈Ys

半期総会が、1月23日横島コミセンで行われました。34期前半の各事業報告と半期会計報告が承認され無事終わりました。

今年、2024年のスタートは、能登半島地震や羽田空港での航空事故などでスタートしたのですがエイブルクラブの34期は新入会員増強で会計的にも事業もすべり出しは快調です。35期に向かってメンバー全員で新しいエイブルを作ってゆきたいです。私は高齢者になりエイブルにめいわくがかからない様努力せねばなりませんけれどももう少し頑張りたいと思っています。あと半期、後半がありますが、各事業に参加してY's活動をやりたいと思っています。

1月1日に最大震度7の地震に直撃された能登地方では過去にも群発地震が観測されが、過去20年間に起きた震度1以上の地震の震源地を地図に重ねると複数の断層が連動した可能性が高い今回は震源域が一気に広がり頻度が増していることがわかる。活発な地震活動は当分続くとみられ、気象庁などは引き続き注意を呼びかけていると新聞に書かれていた記事を読んでいるこの頃です。皆様も地震には注意しましょう。エイブルの今期の活断層はメンバー増員ですね…。

2月27日(火)にパルティール京都にて、オリエンテーション例会を開催いたしました。

まずは役員・委員会報告に始まり、食事・歓談後に新入会員として出席されました熊内Y's、岡田Y'sと共にオリエンテーションを行いました。入会マニュアルや会則、クラブの活動などこのオリエンテーションを通じて、エイブルワイズメンズクラブの知識・認識を深めることが出来たと思います。

ニコニコタイムでは、参加者全員が献金するなど意識の高まりも見えますし、新しいメンバーが増えたことでの更なる盛り上がりを楽しんでいます。



2023年10月1日(日)AM10時~11時 城陽市立福祉センターホールに於いて「野の花」開設20周年記念式典が開催されました。田島茂理事長挨拶、奥田敏晴城陽市長のご祝辞、平松志津江城陽市社会福祉協議会会長ご祝辞、続いて「野の花」を開設当時から支えられている「家族会アルプス」中村小代子さんより20周年の歩みをお話しされました。

次に京都南部の精神保健福祉をすすめる会の「かわせみ」武内美江子が南部地域の精神障害者の状況などをお話しされました。続いて畑中良介所長から「野の花」の活動報告があり最後に加藤博史「野の花」副理事長の閉会の挨拶で散会となりました。

エイブルクラブは「野の花」設立直後から支援活動として(ワイズメンバーの名刺の作成、施設で作られた商品販売、ジャガイモ、カボチャのファンド、賛助会員等々)をCS・地域奉仕事業として支援しています。

2023年10月28日(土)パルティールに於いて横島サッカースポーツ少年団創立50周年記念式典&祝賀会が70数名の参加の元盛大に開催されました。

現在代表されている大倉幸人氏は大橋篤司ysがスポンサーでワイズメンとして入会されていました。大倉幸人代表は京都YMCAのサッカーチームとの接点があるとのこと、そのご縁で25期砂地会長(25期)の期に(青少年健全育成)事業として大倉氏にサッカー大会の開催をお願いしたところ快く受け入れていただき横島小学校で開催することができました。第七回まで続けましたがコロナ感染の影響で中止されています。

式典&祝賀会は大倉幸人代表の挨拶、川口宇治市副市長祝辞、サッカー協会関係の方々のご挨拶の後 乾杯の発声で祝賀会が始まりました。

エイブルワイズメンズクラブの青少年育成、地域奉仕事業として取り組んでいます。



11月4日(日)リトセンオータムフェスタが好天の元200数十名が参加して盛況に開催されました。11時 青倉国土実行委員長の開会宣言、井上和久京都部Yサ事業主查の挨拶、遠藤浩京都YMCAリトセン 担当主事のインフォメーションでスタート。屋台は食堂でのカレー、グローバルキャビンテラスでぜんざい・ポップコーン、メイン会場うどん、ピザ、飲み物、焼きそば、フランクフルトなどが出店されていました。

大型バス2台で支援施設の子供達、ワイズメンの子供さんたちも多く予定よりも早く売り切れたようです。ステージではワイズメンバーの演奏もありました。

エイブルクラブも「焼き鳥」で出店していましたがメンバー数の減少、高齢化でパワー不足で出店しなくなりました。新しいメンバーも入会され、再び出店出来ればと思います。大山ysと参加してきました。